

ご利用
ください

人間ドック検診補助制度

問 保険医療課 ☎721-2111

町では、町国民健康保険および後期高齢者医療保険加入者を対象に人間ドック検診への補助を行っています。

補助金額

年度内1回2万円を限度（指定人間ドック検診または指定医療機関独自の人間ドック検診のいずれか）

対象

町国民健康保険および後期高齢者医療保険加入者で、次のすべての条件に該当する方

伊奈町に住民登録または外国人登録をし、1年以上居住している方
30歳以上の方
町税および保険料を滞納していない方

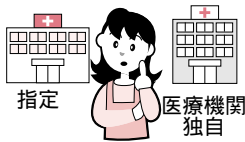
人間ドック検診実施医療機関

医療機関名	所在地	電話番号
伊奈中央病院	寿4-43	721-3022
伊奈病院	小室9419	721-3692
のぞみ病院	小室3170	723-0855
内田クリニック	内宿台5-4	728-9296
金崎内科医院	小針新宿568-3	728-8550
今成医院	小室2469-2	723-8280

桶川市・北本市の実施医療機関についてはお問い合わせください。

人間ドック検診を受けるには？

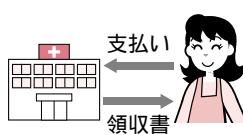
① 指定人間ドック検診を受けるか、医療機関独自の人間ドック検診を受けるか決めてください。



② 受診する医療機関（上表参照）に、人間ドック検診補助金制度を利用することを告げたくうえでお申し込みください。

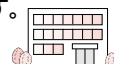


③ 医療機関の窓口で、予約金を支払い、予約金の領収書を受け取ります。



④ 役場保険医療課の窓口で補助申請をしてください。

申請に必要なもの
・予約金の領収書
・印鑑（朱肉使用のもの）
申請書受付後、「対象者の条件」を確認したうえで「受給者証」を発行します。



⑤ 各医療機関で予約した検診日時に「受給者証」を持参のうえ受診してください。

個人負担額、受給者証を忘れずにお持ちください。



「子宮頸がんワクチン」について

健康一口メモ

子宮頸がんは、日本で年間約15,000人の女性が発症していると報告されています。特に20〜30代の女性で急増しており、その世代では乳がんよりも発症率が高くなっています。子宮頸がんは発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）が原因とされ、性行為で感染するため、特別な人だけが感染するのではなく、多くの女性が一生のうち一度は感染するといわれています。ウイルスは一度感染すると二度と感染しないという印象があるかもしれませんが、HPVの場合は、感染の機会があれば繰り返し何度も感染してしまえます。また感染してもほとんどの場合、自然に排除されますが、排除されずに感染が長引いた場合、数年、数十年かけて子宮頸がんを発症することがあります。発がん性HPVには15種類ほどのタイプがあり、その中でもHPV16型、18型は子宮頸がんから多く見つかるタイプです。子宮頸がん予防ワクチンは、すべてのHPVの感染を防ぐものではありませんが、16型、18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。特にHPVに感染する前の10代前半にワクチンを接種することでがんの発症をより効果的に予防できます。しかしHPVに感染している人に対して、感染しているウイルスを排除したり、発症している子宮頸がんの進行を遅らせたり、治癒させることはできません。ワクチンは腕の筋肉に注射しますが、十分な予防効果を得るためには3回の接種が必要です。ワクチンを接種した後、注射した部分が腫れたり痛むことがあります。多くの予防接種と同様に、通常は数日間程度で治ります。今まで子宮頸がんワクチンの接種費用は全額自費でしたが、多くの自治体で無料化や補助を行っていますので、詳しいことは保健センターや市や町の保健担当の方にお聞きになってみてください。

提供…桶川北本伊奈地区医師会

4月1日
から

子宮頸がんワクチン接種費用の 助成を実施します

☎ 健康増進課（保健センター）

☎ 720 - 5000

子宮頸がんワクチン接種は、任意の予防接種です。

接種対象者

町内に住民登録があり、右表の接種年齢に該当する方

接種場所

町内の実施医療機関（右表参照）で個別接種となります。

必ず事前に実施医療機関に予約をしてから接種ください。

（桶川市・北本市・鴻巣市で町と契約した医療機関で接種できます。）

町と契約した医療機関以外での接種は助成がありません。

接種の際持参するもの

母子健康手帳

接種年齢・回数および助成内容

種別	接種年齢	接種回数	助成金額
子宮頸がん	中学1年生から 高校1年生相当の女子	3回まで	全額

子宮頸がんワクチンの接種可能な医療機関

医療機関	所在地	電話
伊奈病院	小室9419	721 - 3692
のぞみ病院	小室3170	723 - 0855
内田クリニック	内宿台5 - 4	728 - 9296
金崎内科医院	小針新宿568 - 3	728 - 8550
今成医院	小室2469 - 2	723 - 8280
木村クリニック	小室10051 - 1	723 - 8884
尾崎内科クリニック	本町1 - 289 - 1	720 - 1701
鳥山こどもクリニック	大針957 - 4	723 - 5557
世沢整形外科	小室2216 - 1	723 - 9191



子宮頸がんとは？

子宮頸がんは、発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)に感染することでかかる病気だといわれています。発がん性HPVは、特別な人だけが感染するのではなく、だれでも感染するありふれたウイルスです。ただし、感染したからといって必ずがんになるわけではなく、子宮頸がんになるのは感染した人のうちの1%未満であると考えられています。発がん性HPVのうち、子宮頸がんから多く見つかるタイプはHPV16型と18型です。

ワクチンについて

子宮頸がん予防ワクチンは、HPV16型と18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。ただし、その他の発がん性HPVの感染は予防できませんし、すでに感染しているウイルスをなくしたり、がんになるのを遅らせたり、子宮頸がんを治したりすることはできません。

ワクチンで防ぎきれなかった病変を早く見つけて治療するため、定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。

Hibワクチン等の接種一時見合わせ

4月1日からインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンについて接種費用の助成を行う予定でしたが、ワクチンの同時接種による死亡例が報告されたことにより接種を一時見合わせるようになりました。

今後、新たな情報が入りましたら広報等でお知らせします。

「こんにちは赤ちゃん訪問事業」が始まります

町では、平成23年度から「こんにちは赤ちゃん訪問」を行います。

町の保健師・助産師・看護師が、平成23年4月1日以降に生まれた生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育てに関する相談や育児情報の紹介などを行います。

訪問した際にはお気軽にご相談ください。

問合せ：健康増進課（保健センター）☎ 720 - 5000

